

みずほCustomer Desk Report 2016/06/23 号(As of 2016/06/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.62 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.72	1.1249	117.76	0.9621	1.4663	0.7450
SYD-NY High	104.85	1.1338	118.60	0.9636	1.4775	0.7527
SYD-NY Low	104.31	1.1237	117.43	0.9551	1.4641	0.7442
NY 5:00 PM	104.45	1.1296	117.99	0.9588	1.4712	0.7500
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.53/14.115		△25RR	2.938	Yen Call Over	

NY DOW	17,780.83	▲ 48.90	債券市場	日本2年債	-0.2300	1.3bp
NASDAQ	4,833.32	▲ 10.44		日本10年債	-0.1380	0.4bp
S&P	2,085.45	▲ 3.45		米国2年債	0.7433	▲2.0bp
日経平均	16,065.72	▲ 103.39		米国5年債	1.1993	0.1bp
TOPIX	1,284.61	▲ 9.29		米国10年債	1.6852	▲2.1bp
シカゴ日経先物	16,025	▲180.00		独10年債	0.0610	1.1bp
ロンドンFT	6,261.19	34.64		英10年債	1.3130	2.6bp
DAX	10,071.06	55.52		豪10年債	2.2210	6.3bp
ハンセン指数	20,795.12	126.68		USD/CNH	6.5820	▲ 0.0115
上海総合	2,905.55	26.99		ドルインデックス	93.54	▲0.47
USDJPY 3M Vol	12.60	0.86%	為替市況	CRB指数	191.809	▲1.27
USDJPY 6M Vol	12.09	0.36%		NY金	1,270.000	▲2.50
EURJPY 3M Vol	14.65	0.88%		WTI	49.130	▲0.72
EURJPY 6M Vol	13.43	0.41%		Dubai Spot	47.20	0.79
			商品市況			

東京	東京時間のドル円は104.72レベルでオープン。前日海外時間に一時105円台に乗せた場面が見られたものの、滞空時間は短く、すぐに押し戻されたことで105円近辺での上値の重さが意識される形となり、東京時間に入ってからドル売り優勢の展開。日経平均株価が軟調に推移したこともあり、ドル円は徐々に値を下げる流れとなると、一時104.36まで下落した。午後に入り、英国民投票を翌日に控えて動意に乏しい展開となると、ドル円は104.50近辺での様子合い推移が続き、結局104.50レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は横ばい。104.50レベルでオープン後、ロンドン時間に目立ったニュース・経済指標の発表などが無く、動意に乏しい展開。上下約20銭の狭いレンジ内での値動きに終始し、104.56レベルでNYに渡った。ユーロドルは上昇。1.1259レベルでオープン後、21日にドラギ総裁が「目標達成に向け必要なら責務の範囲内で利用可能なあらゆる手段講じる用意」と発言したことを受け、急速に進んだユーロ安を巻き戻す形でユーロに買いが入り、また独債利回りが長期主導で上昇したことなどもユーロのサポート材料となった。結局1.1282レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィー00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.56レベルでオープン。翌日の英国民投票の結果発表を控え、序盤は狭いレンジ内での推移が続く。その後発表された米5月中古住宅販売件数は予想をやや下回ったものの、ドル円の反応は限定的となる中、英国のEU残留との見方が強まる流れに、ドル円は一時104.77まで上昇。しかしその後、英世論調査で離脱派がリードしたことが判明すると、リスク回避の動きから円買戻しが優勢となり、104.35まで反落した。午後は狭いレンジ内での推移が続き、104.45レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1282レベルでNYオープン。朝方は海外市場で強まったユーロ買いの流れが継続したこと、1.1338まで上昇するも、最新の世論調査でEU離脱派が増加したことが伝わると、1.1269まで反落。午後は23日の投票を控え、狭いレンジ内での推移が続き、1.1296レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time		Event	結果	予想
6月22日	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	2.9%
	23:00	欧	消費者信頼感指数・速報値	6月	-7.3
	23:00	米	中古住宅販売件数	5月	5.53M
	22:25	米	フィッシャーFRB副議長講演	-	-
	23:00	米	イエレンFRB議長下院議会証言	-	-

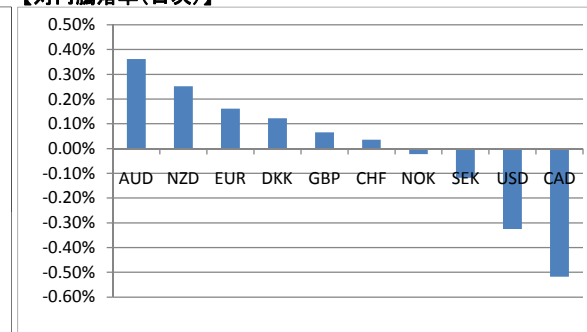
【本日の予定】

Date	Time		Event	予想	前回
6月23日	8:50	日	対外・対内証券投資	-	-
	16:30	独	製造業/サービス業/総合PMI・速報値	6月	52.0/55.0/54.3
	17:00	欧	製造業/サービス業/総合PMI・速報値	6月	51.4/53.2/53.0
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	270K
	22:45	米	マークイット製造業PMI・速報値	6月	50.9
	23:00	米	新築住宅販売件数	5月	560K
	-	英	EU離脱/残留を問う国民投票	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00-105.50	1.1250-1.1400	118.00-120.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円は104円台半ばで小幅レンジ推移。市場の注目は英国のEU離脱の是非を問う国民投票に集まっており、昨日もブックメーカーのオッズがEU残留に傾いていることや世論調査で残留優勢との結果が出ていることからリスクセンチメントが改善し、ポンドやユーロの他にコモディティ通過も幅広く買われた。ドル円はイエレンFRB議長の議会証言に特段反応せず、104円台半ばでの底堅い推移を見せた。本日はいよいよ注目の国民投票が行われる。投票締切は本日の現地時間午後10時(東京時間24日午前6時)となっており、大接戦が予想されることから結果発表前までは、各通貨で方向感に乏しい展開が予想される。本日のドル円も流動性に乏しい展開が想定され、イベント前に神経質な推移となろう。